

2-3

高校生教育プログラム

# より安全な性行動



## 授業の内容

### 【本日の目標】

性感染症の特徴や感染するリスクを下げる方法を学習しよう  
また、性暴力の被害者・加害者にならないために大切な  
性的同意について理解しよう

### ..... 主な学習内容 .....

- 性感染症の種類や特徴を知る
- 性感染症の予防方法を具体的に理解する
- 性暴力に巻き込まれないために大切なことを、学ぶ

## より安全な性行動のために

- 性感染症を防ぐ。
- 適切な避妊方法を選ぶ。
- 性暴力を予防する。
- パートナーとしっかり話し合う。



## 性感染症とは

性的接触によりうつる感染症で、梅毒、淋菌感染症、性器クラミジア感染症などがあります。

### 性感染症を防ぐ必要性

- 感染したことに気づかない場合が多い。
- 気づかないうちに、他人にうつす危険がある。
- 知らないうちに妊娠しにくいからだになっていることがある。
- 妊娠中に感染すると、赤ちゃんに影響することがある（母子感染）。

## 性感染症にはどんなものがある？

増加中

**梅毒**  
(梅毒トレポネーマ)

**性器ヘルペスウイルス  
感染症**  
(単純ヘルペスウイルス)

最多

**性器クラミジア  
感染症**  
(クラミジアトラコマチス)

**尖圭コンジローマ**  
(ヒトパピローマウイルス)

**淋菌感染症**  
(淋菌)

**HIV/エイズ**  
(HIVウイルス)

( ) 内は病原体名

**その他性的接触で感染する可能性のある感染症**

**毛ジラミ、膣トリコモナス、性器カンジタ、肝炎（A型・B型・C型） など**

# HIV/AIDS

H I V (human immunodeficiency virus)

…ヒト免疫不全ウイルス

A I D S (acquired immunodeficiency syndrome)

…後天性免疫不全症候群、エイズ

- HIVはウイルス、エイズはHIVというウイルスに感染して免疫力が低下し、決められた様々な疾患を発症した状態をいいます。
- 今のところ、体内のHIVを完全に取り除くことはできません。
- 現代では医療の進歩により治療薬が開発されたことで、HIVに感染又はエイズを発症しても、治療の継続により、普通の生活を送ることができるようになりました。
- なお、エイズ発症後での治療は、発症前と比較して難しくなるため、HIV感染を早期に発見し、早期治療につなげることが重要です。

## 性感染症のサイン

### 性感染症の代表的な症状

- 性器やそのまわりがはれる・水ぶくれができる。
- 性器やそのまわりがとてもかゆい・痛い。
- 排尿時に痛い。
- 尿に血や膿が混じる。
- おりものの色がいつもと違う、におう、急に増える。

性感染症は、症状がほとんど出ない場合もあります。

気になるとき、心配なことがあったときには、婦人科、泌尿器科、皮膚科、性病科を受診しましょう。

# 性感染症のリスクを下げるには

## リスクを下げる方法について パートナーとしっかり話し合ひましょう

複数の方法を組み合わせることで、より効果を高めることができます。

性行為をしない

コンドームを使用する

性感染症検査を受けて感染に早く気付く

ワクチンを打つ

- HPVワクチン
- B型肝炎ワクチン

性的パートナーを  
限定する



## 性感染症予防としてのコンドーム

- コンドームは粘膜同士の接触を防ぐため、性感染症予防に有効です。
- しかし、すべての性感染症に有効というわけではないことを知っておきましょう。

### コンドームの有効性が高いといわれる感染症

HIV、性器クラミジア感染症、淋菌感染症

### コンドームの有効性が低いといわれる感染症

尖圭コンジローマ、梅毒、性器ヘルペスウイルス、毛ジラミ など

性器以外の皮膚や陰毛に病原体が存在する場合や、病原体の感染力が強くコンドームでは防げない場合等があり、コンドームの有効性は低いとされています。



## 性感染症の検査

- 検査は、婦人科、泌尿器科、皮膚科、性病科を持つ医療機関で受けられます（有料）。
- 検査項目によっては、京都府内の保健所で、匿名で検査を受けられます（無料）。

### ◆ 保健所で検査ができる項目

HIV、梅毒トレポネーマ、クラミジア（クラミジアトラコマチス）、B型肝炎ウイルス、C型肝炎ウイルス など

### ◆ 受診方法

事前に電話で予約

京都府内保健所は、右記QRコードから確認できます。





## HPV感染症を防ぐワクチン（HPVワクチン）

- ヒトパピローマウイルス（HPV）は、性的接触のある女性であれば50%以上が生涯で一度は感染するとされている一般的なウイルスです。
- 子宮頸がん、尖圭コンジローマをはじめ、多くの病気の発生に関わっています。
- 12歳から16歳（小学校6年生～高校1年生相当の女子）を対象に定期接種（無料）が行われています。（男子も有料で接種可能）

### HPVワクチンの効果

- 子宮頸がん、性感染症（尖圭コンジローマ）、肛門がんにかかるリスクを減らします。
- そのほかにも中咽頭がん、陰茎がんにかかるリスクを減らす可能性があると言われています。



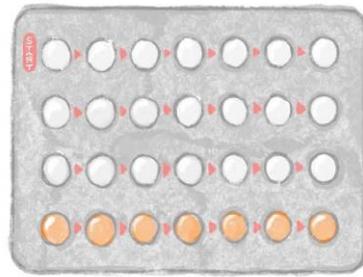
## 予期せぬ妊娠を防ぐ 避妊

腔内性交での妊娠を防止することです。

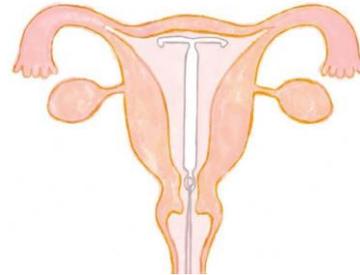
妊娠を望まないときには、予期せぬ妊娠を防ぐためにも適切な避妊方法を選択しましょう。



男性用コンドーム



低用量ピル



子宮内避妊器具 (IUD)



緊急時の方法として、緊急避妊薬もあります



**注意！ 腔外射精は適切な避妊方法ではありません！**

射精前に陰茎（ペニス）からにじみ出る尿道球腺（カウパー腺）液に、精巣から尿道へ漏れ出した精子が混じっている可能性があります。

## 性暴力の予防

### 同意のない性的な行為はすべて性暴力です

軽い気持ちでしたことでも、被害を受けた方は、生涯にわたる深刻なところの傷を負うことがあります。

#### 具体的な例

- 相手の許可なく胸や性器を触る、触らせる
- 裸の写真を無断で他人に見せる など

## 性暴力の予防

**性暴力の加害者にならないことも大切です**

### 「不同意性交等罪」「不同意わいせつ罪」

「暴行」、「脅迫」、「障害」や、「虐待」、「フリーズ状態<sup>※</sup>」、「立場による影響力」などが原因となって、「イヤ」と思うこと、「イヤ」ということ、または、「イヤ」をつらぬくことが難しい状況で、性的な行為がされた場合

※性被害にあったとき、予想外の出来事に直面したことなどで、体が動かなくなってしまう状態

さらに、上のような状況になくても、

**13歳未満（12歳以下）の人**が性的な行為をされた場合、あるいは、**イヤかどうかに関わらず、13歳以上16歳未満（15歳以下）の人**が、**5歳以上年上の人**に性的な行為をされた場合

**男性も女性も、こうした犯罪の被害者になる可能性があります**

## 性暴力の予防

**自分も相手も尊重する性的同意が大切です**

### 性的同意とは

相手のからだに触れることや性的な行動を行うには、  
お互いの「明確」で「積極的な意思表示」があることが大切です。

自分の「からだの尊厳」も、相手の「からだの尊厳」も尊重し、  
同意を得ることを性的同意といいます。

## 性暴力被害にあったときの相談先

**# 8 8 9 1**  
**はやくワンストップ**

性犯罪・性暴力被害者のための  
ワンストップ支援センター全国共通の電話番号

**# 8 1 0 3**  
**ハートさん**

各都道府県警察の性犯罪被害相談電話に  
つながる全国共通の電話番号

**# 1 8 9**  
**いちはやく**

児童相談所虐待対応ダイヤル（全国共通の  
電話番号）

電話相談だけでなく、来所相談も可能な相談先として、  
「京都性暴力被害者ワンストップ相談支援センター 京都SARA」  
もあります。

# 京都性暴力被害者ワンストップ相談支援センター 京都SARA

## 京都SARAでできること

- からだのケア、医療機関の紹介や付き添い
- こころのケア、カウンセリング（無料）
- 警察への連絡、警察署への付き添い
- 法的なサポート、弁護士への法律相談への付き添い など

秘密は必ず守られます。

一人で悩まず、安心して相談してください。



## 本日のまとめ

- 性感染症の種類や特徴を知る
- 性感染症の予防方法を具体的に理解する
- 性暴力に巻き込まれないために大切なことを、学ぶ

自分も相手も尊重した話し合いをすることは、  
予期せぬ妊娠や性感染症、性暴力を防ぐ有効な方法です。

性感染症の心配があったり、性暴力の被害にあった時にはすぐに  
適切な機関に相談しましょう。

**以下は、資料編となっています。**

**授業をより深めるための参考データや資料  
を紹介しています。各学校や生徒の状況等  
に応じて、補足資料として、ご使用ください。**

## 性感染症の誤解

✖ 性感染症にかかったら  
必ず、症状が出る

✖ 性感染症は  
検査をしなくてもわかるはず

✖ 自分の相手は安全

✖ 特定の相手としか  
性行為をしていないから平気

✖ 清潔だから大丈夫

**たった1回の性的接触でも、性感染症に感染する可能性があります。**

# 性感染症一覽

	性感染症	病原体	感染経路	症状	治療法	予防法 ※完全に予防は不可
1	HIV/AIDS (エイズ)	ヒト免疫不全ウイルス (HIVウイルス、HIV)	性行為感染、血液感染、母子感染	感染後、2～4週間後に風邪やインフルのような症状が発症し、自然におさまる数年後、体力や抵抗力の低下により様々な病気を発症	専門内科医で 飲み薬を処方 ※感染から4週間以内に検査を受けた場合、感染していても陰性となる可能性がある	性行為の際にコンドームを装着 PrEP（あらかじめ内服）による予防も可能
2	 梅毒	梅毒トレポネーマ	性行為感染、血液感染	感染後、1か月後に性器・口・肛門などにできもの、しこり、ただれなどができる。痛みやかゆみはなし。 3か月後に手のひらや足の裏をはじめ全身にじんましんのような赤い発疹が出る。	専門内科医で 飲み薬・注射剤を処方	性行為の際にコンドームを装着
3	性器クラミジア 感染症	クラミジアトラコマチス	性行為感染、血液感染	症状ほとんどなし 女性…おりものの増加・黄色くなる、腹痛 男性…尿道のかゆみ、軽い痛み、膿	専門内科医で 飲み薬を処方	性行為の際にコンドームを装着
4	淋菌感染症	淋菌	性行為感染、血液感染、母子感染	女性…症状ほとんどなし。おりものや尿から膿、卵管炎 男性…尿道のかゆみ・熱感、強い痛み、膿	点滴治療 or 飲み薬を処方	性行為の際にコンドームを装着
5	性器ヘルペス ウイルス感染症	単純ヘルペスウイルス	性行為感染、血液感染、母子感染	性器に水膨れができ、痛みがある。 一度かかり、体調が悪くなると症状が出る ことがある	軽症であれば飲み薬、重症なら点滴	性行為の際にコンドームを装着
6	尖圭コンジローマ	ヒトパピローマウイルス	性行為感染、血液感染、母子感染	性器に鶏のとさかのようなイボが発生。 痛みやかゆみなし	患部に塗る治療法。 塗れない場合には、レーザーや電気メス等で切り取りが必要。	HPVワクチン

参考：厚生労働科学研究費補助金エイズ対策政策研究事業「HIVや梅毒をはじめとする 性感染症のすべてが簡単にわかる本」